

歯科衛生士復職支援講座 について

兵庫県加古川健康福祉事務所
地域保健課 村野安祐美

歯科衛生士の人材確保対策(兵庫県)

- 歯科衛生士の就業に関する実態調査
(調査時期:平成27年9月~10月)
- 歯科衛生士の復職支援検討会議
- 歯科衛生士復職支援研修会
＜神戸・姫路の2会場で実施＞
(実施主体)公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会
- **歯科衛生士復職支援講座**
(実施主体)
兵庫県東播磨県民局加古川・明石健康福祉事務所
兵庫県阪神南県民局芦屋健康福祉事務所

歯科衛生士復職支援講座

(東播磨県民局加古川健康福祉事務所・明石健康福祉事務所)

○離職の原因は出産・育児が最も多い

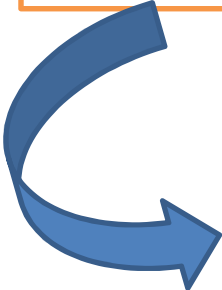
○離職者のうち復職の希望がある者は46.6%

※年齢が上がるにつれて復職を希望する者は減少

(20代では87.8%、40代では49.6%、50代21.5%)

○復職の障害として自分自身の知識・技術に対する不安と回答した者が最も多い。

○勤務場所としては「診療所」を希望する者が最も多いが、20代では13.9%であったのが40代以上では35.6%と年代があがるにつれて介護関係施設を希望する者が増加。



高齢者施設や在宅での口腔ケアの実施を希望する歯科衛生士を対象に知識や技術が学べる場を提供することにより、歯科衛生士の復職を支援する。

プログラム

講座名：歯科衛生士のための学びなおし講座

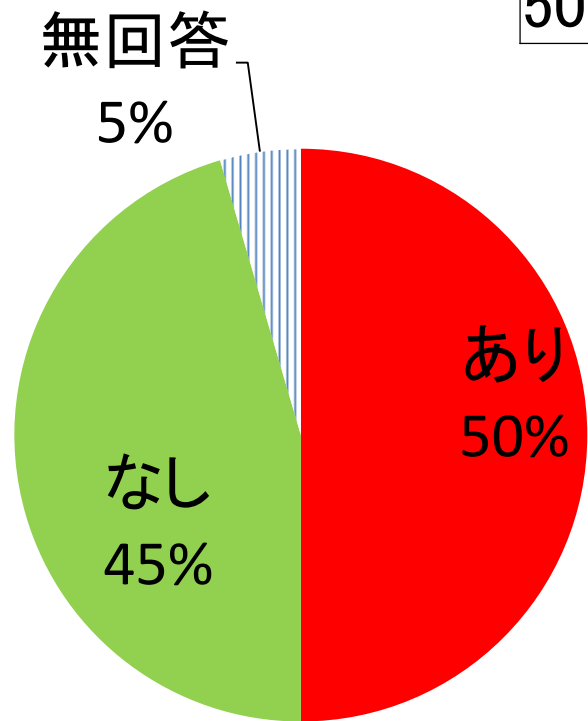
	内容	講師
第1回	【講義】 ①オリエンテーション ②介護保険制度を理解しよう ③高齢者の口腔の特徴	・順心会居宅介護支援センター加古川 中村浩子 氏(歯科衛生士) ・播磨歯科医師会 山田一郎 氏
第2回	【講義】 口腔ケアの現場をのぞいてみよう ①高齢者施設 ②在宅	・兵庫県歯科衛生士会副会長 岩崎小百合 氏 ・兵庫県歯科衛生士会明石支部 泉本美穂 氏
第3回	【講義】 ①他職種との連携を考えよう ～在宅看護とパーキンソン病 ②情報交換会～現場の声を聞いてみよう	順心会訪問看護ステーション加古川 久保好子 氏

	内容	講師
第4回	<p>【実技実習】 要介護者の口腔ケアと口腔機能向上をやってみよう</p> <p>①集団指導レクチャー ②実践！口腔ケアの基礎</p>	<p>兵庫県歯科衛生士会播磨支部</p>
第5回	<p>高齢者施設見学</p>	<p>【実習先】 介護老人福祉施設 ヴィラ播磨</p>
第6回	<p>①【実技実習】 食事形態の工夫を体験してみよう</p> <p>②グループワーク (テーマ) 学習内容の振り返りと今後の活動について</p>	<p>・兵庫県歯科衛生士会播磨支部 岩崎小百合 氏</p> <p>・兵庫県歯科衛生士会明石支部 泉本美穂 氏</p>

受講者数: 22名

勤務の有無

	人数
あり	11
なし	10
無回答	1



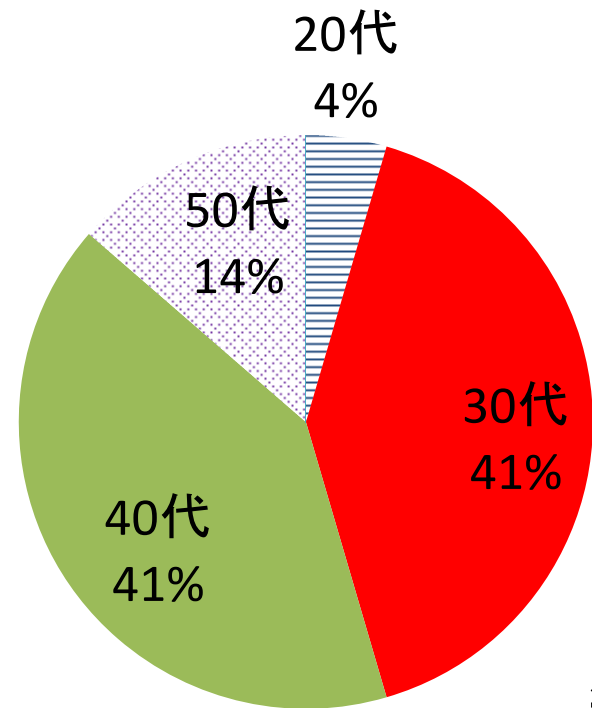
勤務の有無

受講者について

年齢

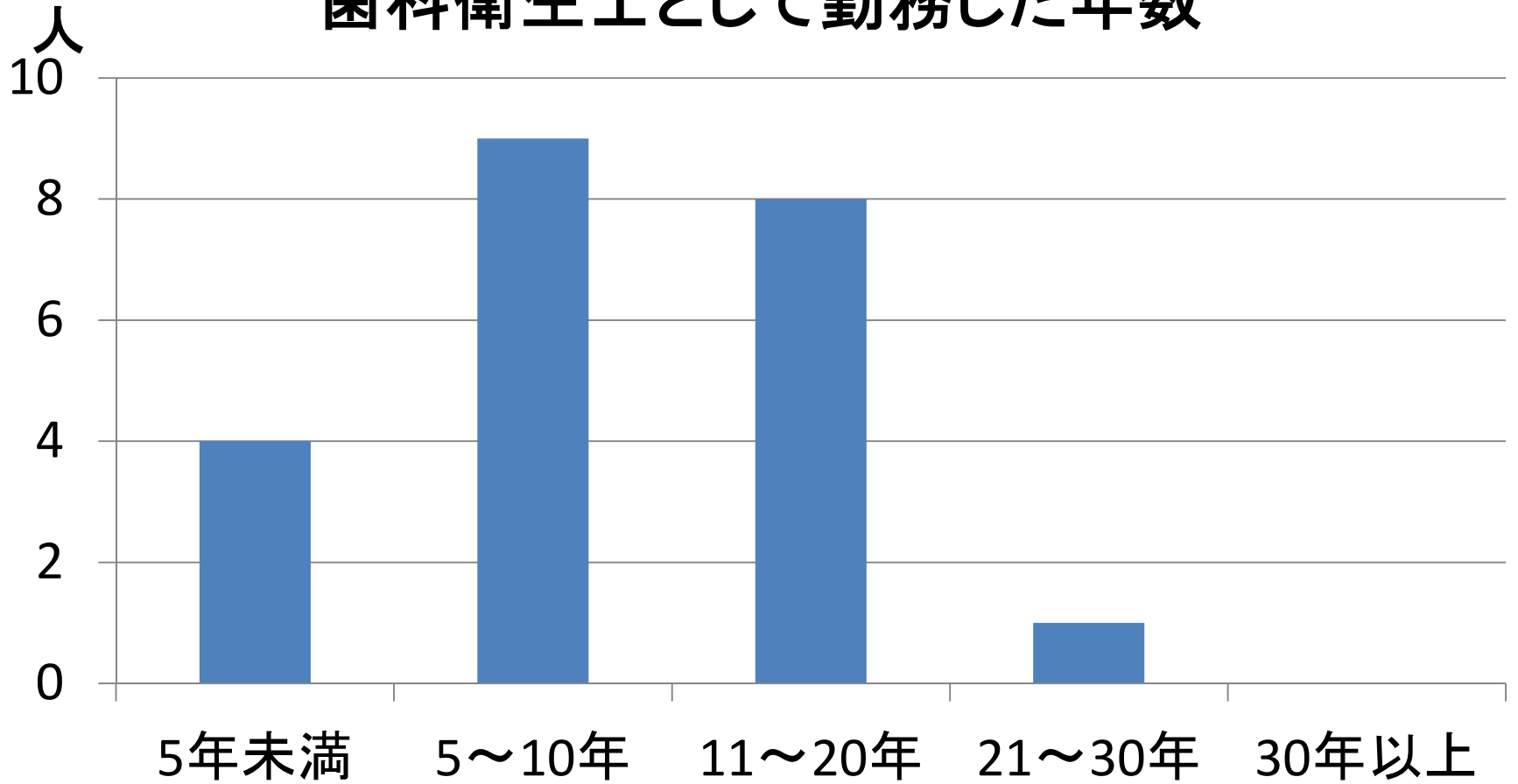
	人数
20代	1
30代	9
40代	9
50代	3

初回アンケートより



年齢

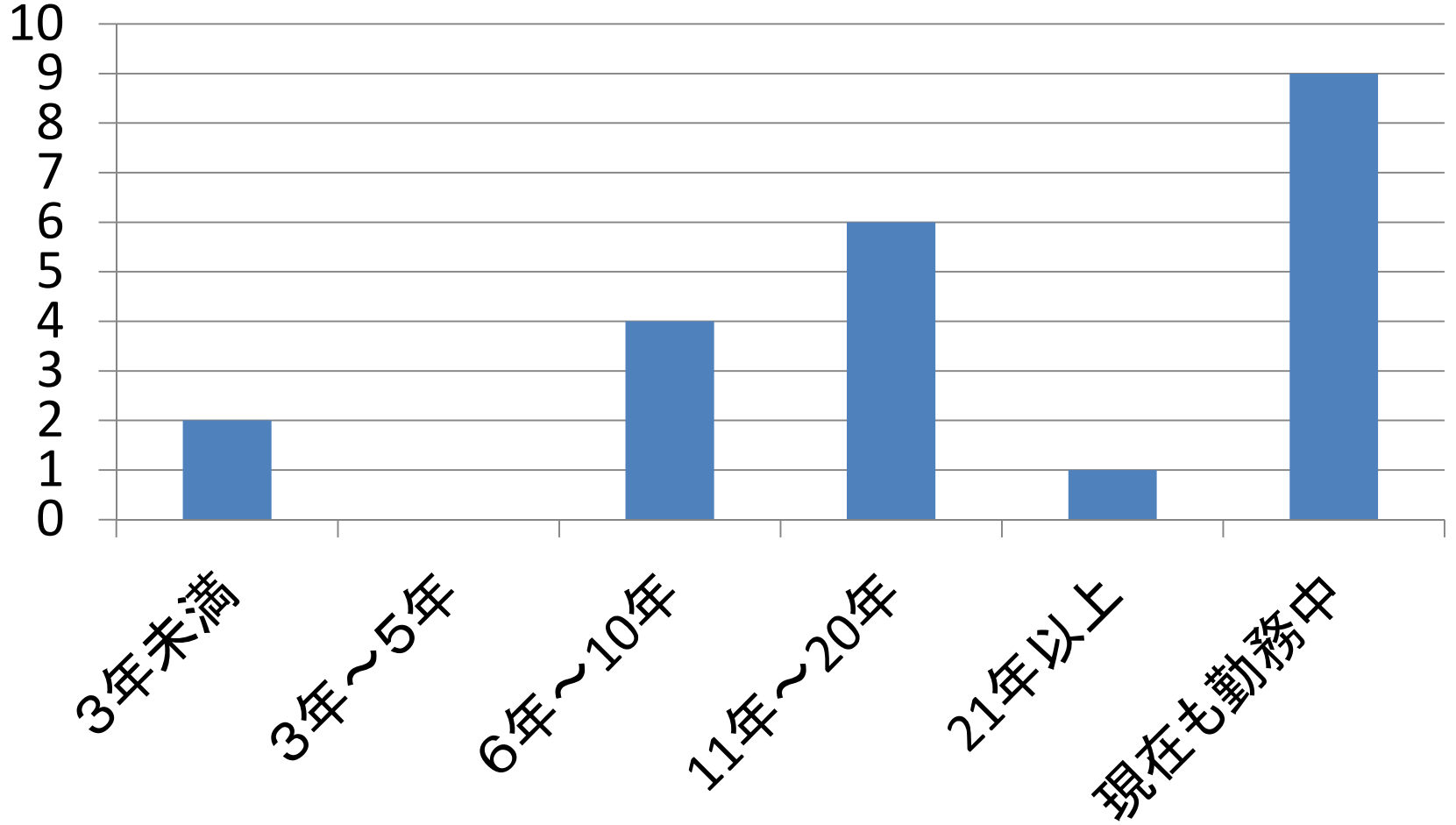
歯科衛生士として勤務した年数



初回アンケート

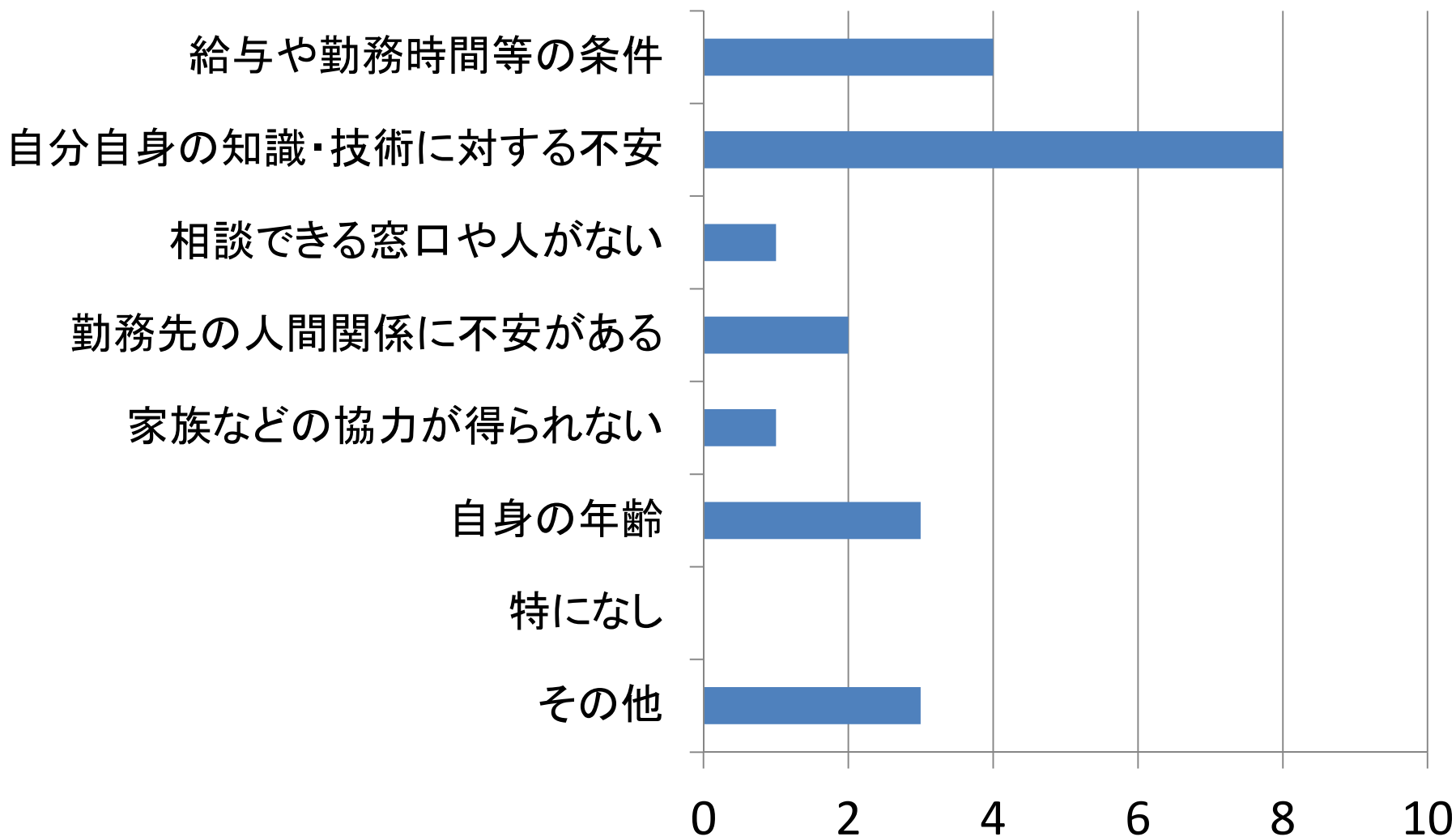
ブランクの期間

人



初回アンケート

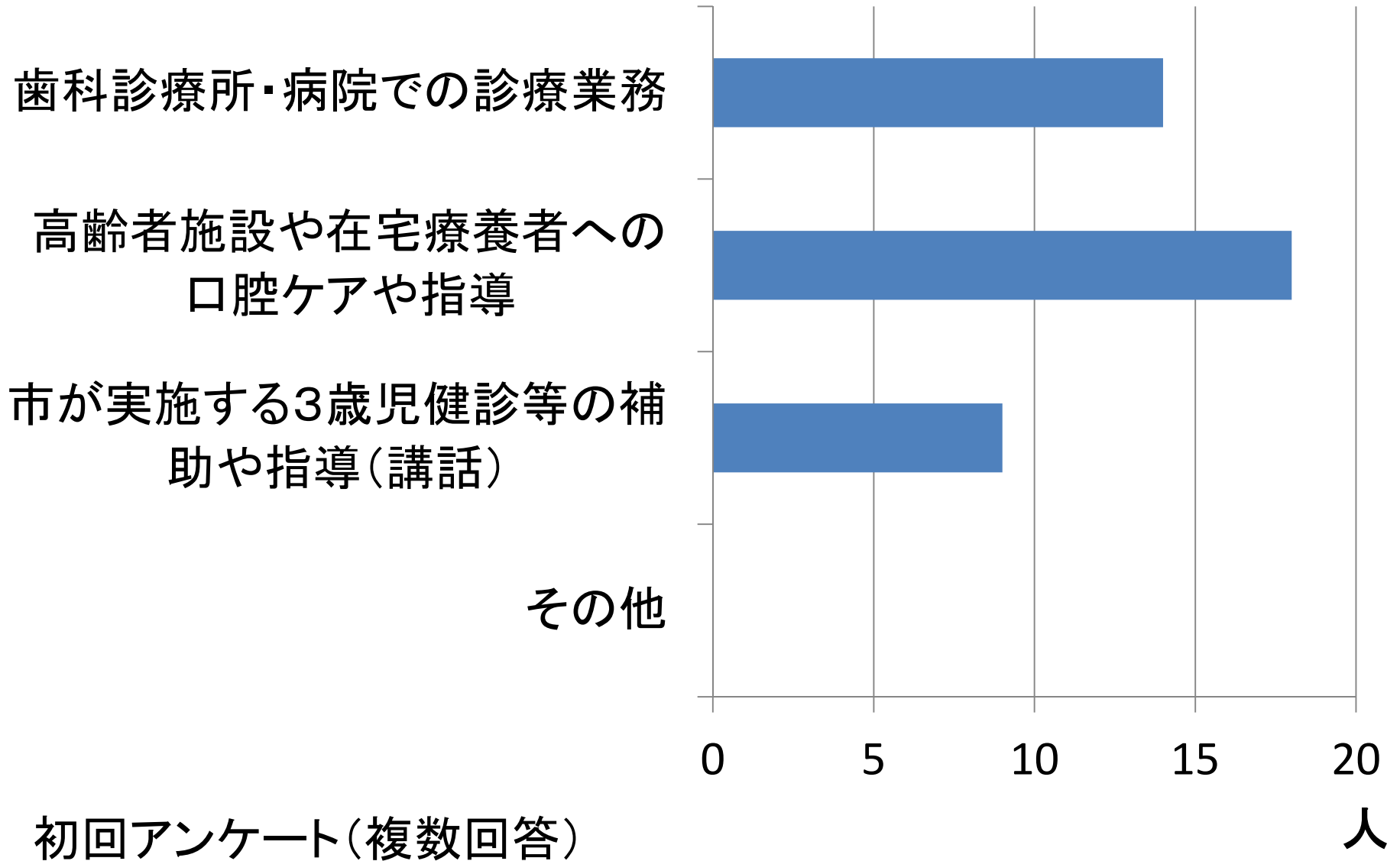
復職の障害になっていること



初回アンケート(複数回答)

人

希望する勤務先





講座の様子



実技実習

高齢者施設見学



振り返りのグループワークについて

目的

- ①講座に参加して、参考になったこと・わからなかったこと・もっと勉強したいことを整理し、共有する。
- ②今後どのように学習を進めるか、どのような支援があれば学習を進めやすいか整理し、共有する。
- ③復職に向けてどのようなことが不安か、どのような支援があれば不安が解消するか整理し、共有する。

事前課題

学習内容整理シート【第6回歯科衛生士のための学びなおし講座で活用します】

No.1

1. 下記の項目の関心度・理解度について該当数字に○をつけ、わからなかったことなどを記入してください。

項目		関心度	理解度	わからなかったこと もっと学びたかったこと・感想
基礎知識	口腔ケアの目的について	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	
	介護保険サービスのしくみや歯科衛生士の関わりについて	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	
	多職種との連携について	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	
口腔ケアの実践	事前の情報収集について	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	
	口腔のアセスメント・口腔ケアプランの作成について	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	
	口腔ケアの手順について	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	低 $\xrightarrow{\hspace{2cm}}$ 高 1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	

事前課題②

No. 2

2. その他わからなかったこと・もっと学びたかったこと・感想を記入してください。

--

3. 復職に向けて不安に思っていることがあれば記入ください。

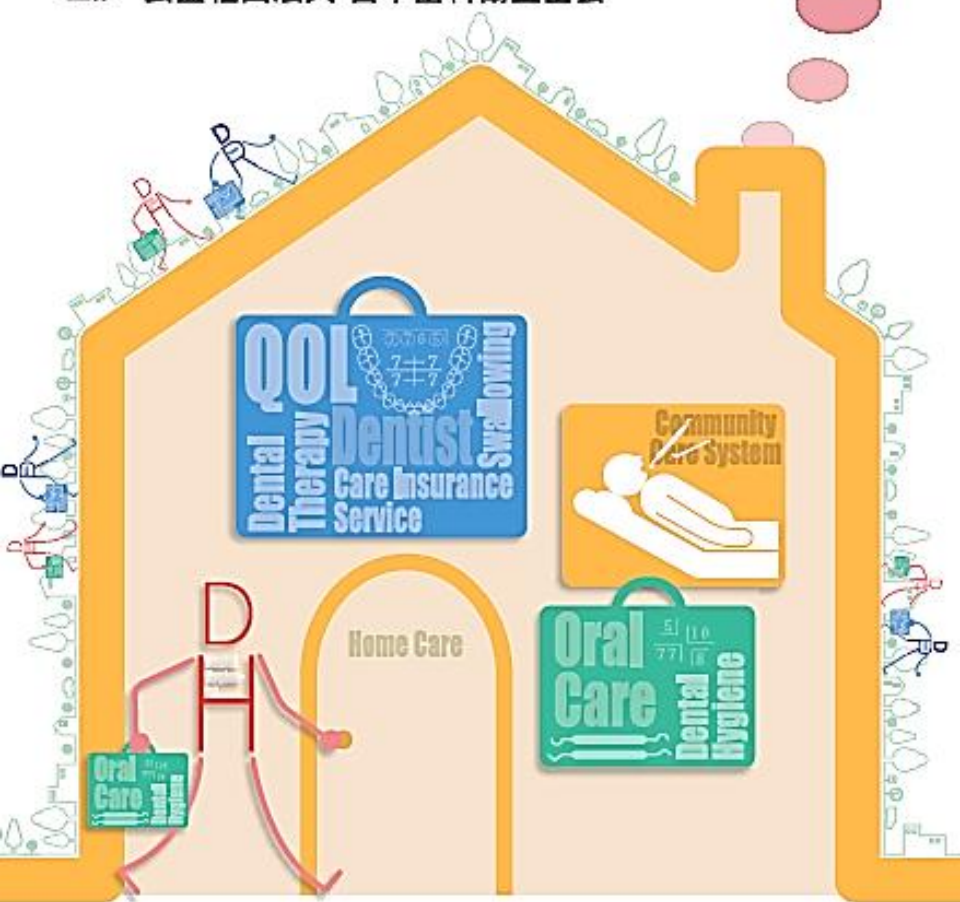
--

4. 今後どのように学習を進めていきたいか、どのような支援があれば学習が進めやすいかご記入ください。
(例:ハイジの会に参加する、研修会を探して参加する、学びなおし講座の内容の復習をする。)

--

在宅療養者の実践 口腔ケアマニュアル

監修 公益社団法人 日本歯科衛生士会



CONTENTS

第1章	在宅療養者への歯科からの支援	2
	1. 在宅歯科医療	2
	2. 在宅療養支援歯科診療所	2
	3. 在宅療養者の口腔ケア	3
	4. 継続的な口腔ケアのために	3
第2章	在宅療養に関する保険と制度	4
	1. 介護保険制度の目的	4
	2. 介護保険サービス	4
	3. 地域包括ケアシステム	4
	4. 地域包括支援センター	6
	5. 在宅療養者の生活	6
	6. 食べる楽しみの支援	7
	7. 歯科衛生士が行う在宅療養者への支援	8
	8. 介護保険制度と医療保険制度の口腔ケアの位置づけ	8
第3章	在宅療養者を支える多職種	10
	1. 在宅療養者を支える多職種	10
	2. 地域における多職種連携	12
第4章	在宅療養者の口腔ケアに関するマネジメント	13
	1. 口腔ケアに関するマネジメント	13
	2. 基本情報の収集	14
	3. 口腔のアセスメント	15
	4. 口腔ケアプランの作成	16
	5. 業務記録と評価	16
	6. 食べることの支援	17
第5章	在宅療養者への口腔ケアの実践	20
	1. 在宅訪問前	20
	2. 在宅訪問	21
	3. 在宅訪問後	22
第6章	在宅療養者への口腔ケアの症例	24
	脳血管疾患後遺症患者の口腔ケアの実践	24
	認知症患者の口腔ケアの実践	26
	がん末期患者の口腔ケアの実践	28
	神経障害性患者の口腔ケアの実践	30
第7章	感染対策	32
	1. 在宅療養者への感染対策	32

はじめに Ⅱ
 参考文献 35

学習内容整理シートより

○理解度が高かった項目

口腔ケアの目的について

○理解度が低かった項目

①介護保険サービスのしくみや歯科衛生士の関わりについて

②口腔のアセスメント・口腔ケアプランの作成について

実際の症例から自分たちでアセスメント・口腔ケアプランの作成をしてみたかったとの声

学習内容整理シート、グループワークより

<参考になったこと・感想>

○学校では在宅や高齢者施設での口腔ケアのことをほとんど学ばなかったので、歯科衛生士の役割や必要性がよくわかった。

○歯科衛生士が不足している、介護現場で必要とされていることなど知らなかったなので、いろいろな情報知ることができてよかった。

○年齢を重ねても歯科衛生士として働ける仕事場があるのかずっと心配したが講座を受けて介護分野の仕事は続けられそうな希望を持つことができた。

歯科衛生士が在宅療養者や要介護高齢者等の口腔機能管理で活躍できることを知らなかった方が多い

学習内容整理シート、グループワークより

<わからなかったこと・もっと勉強したかったこと>

○見学および実習の時間がもう少し欲しかった。症例をもっと見たいし、できることなら患者さんに触れてみたかった。

○今回は口腔ケア中心の勉強だったがホワイトニングやインプラントなど復職に向けて基本的なことを勉強したかった。受講者がどの分野への復職を望んでるかを加味した内容があればうれしく思う。

- ・実践的な研修会を希望する受講者が多い。
- ・在宅や高齢者施設での口腔ケアの重要性は認識しつつ、歯科診療所での診療補助等についての基本的な内容を学習したいという要望もある。

学習内容整理シート、グループワークより

＜復職に向けてどのようなことが不安か・どのような支援があれば不安が解消するか＞

○ブランクが長いので何もかも不安。人間関係もその1つ。

○ブランクが長いので技術的に不安。

○子どもが小さいため午前中のみ平日しか働けないため働き口があるのかどうか不安

○歯科衛生士の人数が足りていないとのことだったが、情報元が少なくどこへ相談に行けばよいのかよくわからない。気軽に相談できる窓口が欲しい。

技術・知識に対する不安、勤務条件についての不安など様々な不安を抱えており、相談窓口を望む声が多かった

学習内容整理シート、グループワークより

＜今後どのように学習を進めていきたいか、どのような支援があれば学習が進めやすいか＞

○学びなおし講座の内容を復習しつつ、このような様々な研修会が増えたらいいなと思う。

○実技ありの研修会などがあれば参加したい。

○広報などに情報をのせてもらえると参加しやすい。

今後の支援方法

継続的な知識・技術向上の支援

- 加古川健康福祉事務所管内公衆衛生活動歯科衛生士研究会（自主勉強会）の紹介
- 公益社団法人 兵庫県歯科衛生士会の研修会の案内
- 専門誌の貸し出し

復職に向けての相談体制

- ひょうご歯科衛生士人材センター—無料職業紹介所の紹介

就職までの流れ



ステップ1

<求職票の提出>

- ①次のどちらかの方法で、求職票を取り寄せる
 - ・兵庫県歯科衛生士会のHPよりダウンロードする。
 - ・ひょうご歯科衛生士人材センターへ送付依頼する。
- ②必要事項を記入し、メール・FAX・郵送にて提出する。

ステップ2

<求人票の閲覧>

- ①兵庫県歯科衛生士会のホームページで閲覧する。
- ②面接（要予約）・電話等により、求人票の内容について確認する。

何でも相談員に
ご相談ください。
ex. 業務内容、条件、
フランクに対する相談
など

ステップ3

<求人先への問い合わせ>

求人票の中で気になるところがあれば、センターに連絡する。相談員が求人内容の詳細を説明するとともに、問い合わせ事項があれば、求人先に問い合わせをする等一緒に相談しながら就職先を探す。

ステップ4

<就職先の紹介>

- ①紹介先が決まれば、求職者と求人先とで面接の日程調整をする。
- ②センターは紹介状を作成して、求職者に送付する
- ③求職者は紹介状を面接先に持参する。
- ④面接を受ける。

採用:センターに連絡して終了
歯科衛生士として就職

キャンセル・不採用

ステップ1へ